

緑の風



令和7年・7月号

ホーム <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/> E-mail wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp

挨拶についてみんなで考えよう！

校長 福江大幸

和木小学校では、学校だより4月号で述べたとおり、「表現力」と「積極性」の育成をキーワードに取り組んでいます。そんな中、児童と大人（保護者と地域住民等）が、テーマをもとに協議する、「熟議」の学びを取り入れることとしました。今回のテーマは『挨拶』の予定です。

また同時に、挨拶についてのアンケートもお願いしているところです。このアンケート結果をもとにして、当日熟議を実施します。途中経過ではありますが、現時点の大人の回答を一部紹介します。

○児童の挨拶ぶりに点数を付けた際の理由

- ・すれ違った児童がかなりの確率で挨拶をしてくれます。特にソフトボール部の児童の挨拶は元気もよく、心地よいといつも感心します。
- ・和木在住15年くらいですが、引っ越してきた当時に比べて挨拶する子が減っている気がします。
- ・子どもたちはそこまで挨拶を重要視して過ごしていないかなと感じます。
- ・知らない人に声をかけられたら反応しないと教えられているのかもしれませんが、こんな小さい町で都会のようなルールは合わないと思います。挨拶されたら挨拶を返す、それをするを子どもが迷っているように思います。



○挨拶はとても大事と多くの方が言います。どう思いますか。

- ・とても大事と思う。子どもにはいつも挨拶しなさいと指導しています。
- ・挨拶は礼儀の一つだと思うので大事です。
- ・挨拶をすることで相手に顔を覚えてもらうことができ、自分が困っているときにもしかしたらその人が助けてくれるかもしれない。
- ・他人であっても同じ地域に住む人。すれ違えばせめて挨拶くらいでも声をかけ合える地域でありたいと思います。日常の些細なやりとりが、地域の結びつきを強くすると思います。

貴重なご意見ありがとうございます。特に保護者の回答が多いこと、大変うれしく思っています。5、6年生にも同様にアンケートを実施する予定です。子どもたちにとっては、大人の思いを聞き、挨拶について考え直すこと、大人にとっては、子どもたちの思いを聞き、家庭や地域での子どもたちへの声かけ等について考え直すことに意義を見いだしたいと思っています。やはり挨拶は、「和木PRIDE」の醸成へ向けても、「表現力」と「積極性」の育成に向けても、基本の基本であることは、今も昔も変わらないですね。

7月16日（水）10時、たくさんの大人の方に参加いただけることを大いに期待しています。



和木小コミスクひろば



6月7日（土）、3年生が「和木町福祉まつり」において大活躍しました。体験コーナーや募金活動などで元気いっぱい活動し、自身の学びを深められたことはもちろん、その活動でのおもてなしの心が地域づくりに貢献できているなあと、改めて感じ、うれしく思いました。

